指　揮　隊　車　仕　様　書

第１　総　則

１　目　　的

この仕様書は，旭川市（以下「本市」という。）が平成２７年度に購入し，本市北消防署に配置する指揮隊車（以下「車両」という。）の仕様について定める。

２　関係法令等

この車両は，仕様書及び承認図書によるもののほか，次に掲げる法令等に適合し，緊急自動車として承認を得られるものとする。

（１）道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）

（２）道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）

（３）その他の関係法令

３　車両概要

この車両は，平成２７年度に製作された４輪駆動ワンボックス型シャシに，指揮隊用資機材，その他消防活動上必要な付属品を積載し，災害現場活動に対して迅速かつ安全に対応することが可能なものとする。

４　納入台数

１台

５　納　　車

（１） 北海道運輸局旭川運輸支局の新規検査を受けた後，各部の点検整備及び清掃を実施のうえ，本市に納入すること。

（２） 納入時，車両及び積載品は，燃料タンクを満たした状態とすること。

（３） 納入期間は平成２８年１月５日から平成２８年１月２９日までの間とする。

（４） 納入場所は，本市とする。

（５） 納入後，車両及び積載品の取扱いについて説明を行うものとする。なお，取扱説明については別途指示する。

６　製作上の問題等

（１） シャシ納入後は，シャシメーカーと緊密な連絡を保ち，納入までは連帯して責任を負うものとして責任をもって対応を行うこと。

（2） 仕様内容に疑義が生じた場合又は仕様の変更が必要になった場合は，本市とその都度速やかに協議し，承認を得た後，施行すること。

（3）仕様内容の解釈については，本市の解釈に従うこと。

（4）製作に当たり，工業所有権及びその他特許に関する法令上の権利等を侵害することがないようにし，受注者がこれらの問題を解決すること。

7　製作上の留意点

（1） 標準装備以外の装備及び部品の取付けは，ボルト締結を原則とすること。

（2） 積雪寒冷地での車両運用のため，機構，車体構造等について十分な検討を行うこと。

（3）車体全般にわたり，防水，防食及び防錆措置を十分実施すること。

（4）清掃，点検，調整，修理等のメンテナンスが，容易に実施できること。

（5）車両運用時の安全性確保を最優先するとともに，機能性も十分考慮すること。

（6）車両は，堅牢で長期の使用に十分耐え得るものであるとともに，全体的な重量軽減及びバランスを考慮すること。

（7） 積載品は，作業効率を考慮して配置すること。

（8） 車両運用時，車両の装置，装備の干渉等による損傷を防ぐために必要な措置を講ずること。

8　その他

（1）車両の修理等の対応

この車両は，緊急車両であることから，納車後において車体等に不具合が発生した場合に，本市の修理依頼に対して２時間以内に対応できることを条件とする。

（2）登録等の経費

納入までに要する経費等は，受注者の負担とする。ただし，車両登録に要する経費のうち，新規登録手数料，自動車損害賠償責任保険，自動車重量税及びリサイクル費用は本市が負担する。

（3）保証期間

ア　納入日から起算して２年間とし，保証書を提出すること。ただし，保証期間経過後において，設計不良，製作上の欠陥等による故障が生じた場合は，無償で修復，取替え等を行うこと。なお，積載機器等については，各メーカーの定めた期間とする。

イ　納入後に生じた故障等の修理について，その対応がぎ装メーカーかシャシメーカーのいずれによるものか判断ができない場合は，その受付窓口はぎ装メーカーとし，責任をもって直ちにこれを処理すること。

第２　提出書類

１　承認図書

受注者は，契約後速やかに本市と細部の打合せを実施し，打合せ後速やかに次の書類（Ａ４版に製本）を３部提出し，承認を受けること。なお，承認後１部を受注者に返却するものとする。

（１）製作工程図

（２）製作図等

　ア　ぎ装諸元明細書

　イ　ぎ装外観５面図

　ウ　キャビン改造図（座席改造図を含む。）

　エ　車体寸法図

　オ　資機材収納ボックス製作図

　カ　装備品取付図

　キ　電気系統配線図

　ク　使用ぎ装部品明細一覧表（メーカー名及び型式）

（３）製作を外注する場合は，次の内容の外注先一覧表を本市に提出すること。

　ア　会社名

　イ　所在地

　ウ　電話番号

　エ　外注内容（品目，作業内容等）

（４）車両カタログ

（５）その他本市が指示するもの

２　完成図書

車両納入時に，次の書類を１部の指定があるものを除き２部提出すること。

（１）改造自動車等審査結果通知書の写し

（２）自動車検査証の写し

（３）緊急自動車届出確認書写し（１部）

（４）使用材料一覧表

（５）使用電球・ヒューズ・ブレーカ一覧表

（６）車両取扱説明書

（７）エンジン・シャシパーツリスト，パーツ価格リスト（１部）

（８）整備要領書（新型車解説書１部，車両系１部）

（９）納品書・納品明細書

（10）その他本市が指示するもの

３　写真（デジタルカメラＬ版ＣＤ－Ｒ付き）

　次に掲げる写真（Ａ４版ファイルに製本）を各１部提出すること。

（１）製作工程に基づく状況を撮影したもの

（２）完成車の５面を撮影したもの

（３）その他本市が指示するもの

第３　主要諸元

　この車両をぎ装するのに，十分耐える強度及び耐久性のある構造とし，次によるものとする。

１　寸法等

（１）全長　　　５，７００㎜以下

（２）全幅　　　２，０００㎜以下

（３）全高　　　２，６００㎜以下

（４）後部室内高　１，６００㎜以上

（５）後部室幅　１，６５０㎜以上

（６）室内長　　３，３００㎜以上

（７）総重量　　３，５００㎏以下

（８）乗車定員　５名以上

２　シャシ・エンジン

（１）年式　　　平成２７年式

（２）型式　　　ワンボックス・ハイルーフ型

（３）総排気量　２，４００cc 以上

（４）ホイルベース　３，３００㎜以下

（５）操向装置　パワーステアリング装置付き

（６）制動装置　倍力装置及びＡＢＳ装置付き

（７）駆動装置　四輪駆動

（８）使用燃料　ガソリン又は軽油

（９）燃料タンク　６５リットル以上

⑽　ﾄﾗﾝｽﾐｯｼｮﾝ　Ａ／Ｔ

⑾　最大出力　９５ｋＷ以上

⑿　オルタネータ　車両のぎ装等の消費電力に対応した出力とすること。

⒀　バッテリ容量　車両の使用条件に適した蓄電容量を有すること。

3　主要構造

（1）乗員の安全と積載品の保護のために必要な強度，剛性及び装備を有すること。

（2）車両及び積載品は，走行中の振動及び衝撃に充分耐えうる構造とすること。

（3）車両及び積載品の劣化防止のため，防錆対策等を施して耐久性を向上させること。

（4）走行時の機動性及び操作性向上のため，積載物の重量バランスを考慮し軽量化を図ること。

（5）車内における乗員の移動の容易性及び居住性に配慮すること。また，車両及び積載品の盗難対策を施すこと。

（6）サスペンションは，ベース車両のものを基本とするが，必要に応じて強化型，大容量型を選定すること。

（7）シャシメーカー公表の標準仕様は，寒冷地仕様とする。

4　取付品，付属品等

車両の取付品，積載品及び付属品は，メーカー標準品のほか，別表１，別表２及び別表３のとおりとする。

第４　車体のぎ装

1　ぎ装材料

（1）ぎ装材料は，本仕様書を満足する十分な強度を持たせること。

（2）構造上鋼板を用いる場所の端部は折り曲げること。

（3）収納ボックスは，木板又はアルミ板を使用すること。

（4）ぎ装材料全般において，端面に丁寧な面取り又はモール取付けなどを施し，隊員の受傷防止に努めること。

（5）車両室内外の蝶番，ボルトナット類等の取付金属は，全てステンレス製のものを使用すること。

（6）床材は，耐水性，防滑性及び難燃性に優れた材料を使用すること。また，他構造材とのつなぎ目等には全てシール剤を塗布すること。

（7）後部室天井及び内壁には，内張を施すこと。

（8）コーキング類は，耐候性に優れ経年劣化しにくいものを用いること。

（9）ゴム製品を使用する場合は，全て耐油性を持った合成ゴムとすること。

2　取付装置

（1）運転席後部にパソコン台兼用のテーブルを取り付けること。なお，テーブルには薄型の引き出しを設け，テーブルの上面はメラミン化粧板で覆うこと。

（2）テーブル付近に書類入れ等の収納ボックスを可能な限り設けること。

（３）テーブル後部に軽量強固で振動等に十分耐えられる２人掛けシートを取り付けること。また，シート下部は収納スペースを兼ねる構造とすること。

（４）左スライドドア後部に跳ね上げ式１人掛けシートを取り付けること。

（５）助手席後部に収納ボックスを取り付けること。なお，収納ボックスは，下段に電装関係を，上段に小物等を収納可能なものとし，必要に応じて仕切りを設けること。

（６） 車内後部両側面のスペースを最大限活用し，資機材収納ボックスを取り付けること。なお，資機材収納ボックスは，全て扉又は蓋付きとし，内容物が振動等で飛び出さない構造とすること。また，上部にも積載品が収納できるものとし，走行等による落下防止の措置を構じること。

（７） 最後部に資機材収納ボックスを取り付けること。なお，収納ボックスは段型とし，最下段はストレッチャー型の指揮台が収納できる構造，その他は積載品を可能な限り収納できるボックスとすること。

（８）運転席及び助手席の中間部分に携帯無線機等の収納ボックスを取り付けること。

（９）収納ボックスに木板を使用する場合は，長期使用に耐えられる化粧合板を使用し，ボックス内はメラミン化粧板あるいはこれと同等以上の保護性能を有する材料を使用すること。取付けについては，車両積載品が速やかに収まり，振動等により移動しない構造とすること。

⑽ 上記（１）から（９）までの取付装置については，造作又は既製品とすること。なお，寸法，構造等の詳細は別途協議する。

３　車体

（１）車両後部の各窓は，濃紺フイルム等を貼ったプライバシーガラスとし，収納ボックスぎ装部分が外側から見えないようにすること。

（２）集中ドアロック装置を全ドアに設け，キーレスエントリーシステムを取り付けること。

（３）消防章は，フロントグリル中央部付近にメーカーマークレスにて取り付けること。

（４）車両左側上部にステンレス製訓練旗立てを取り付けること。

（５）運転席及び助手席ドアにサイドバイザーを取り付けること。

（６）運転席にアイドルアップ装置を取り付けること。

（７）全車輪に泥よけを取り付けること。

（８）前照灯（ロービーム）は，高輝度ヘッドライト又はＬＥＤとすること。

（９）リヤバンパーにはステップを設け，滑り止めを施すこと。

⑽ リヤ右側にフォグランプを取り付けること。

４　車両取付品

別表１のとおりとし，ここでは取付方法等について示す。

（１）赤色警光灯

ＬＥＤ式赤色警光灯は，ルーフ上の最前部に取り付け，防雪カバー付きとすること。

（２）赤色点滅灯

　ＬＥＤ式赤色点滅灯を車両前部，後部及び両側面に各２個取り付けること。なお，スイッチ及び点滅は，赤色警光灯と連動させること。また，車両前部の点滅灯以外は，任意に消灯することが可能とすること。

（３）周囲照明灯

　車両両側面前後に周囲照明灯を取り付けること。また，スイッチは，機能集中型操作スイッチに設け，左側及び右側を任意に消灯又は点灯することが可能な構造とすること。

（４）電子サイレン

ア　最大出力５０Ｗ以上，音声合成装置付きとすること。

イ　サイレン及び警鐘音同時吹鳴機能付き，出動予告放送機能付きとすること。

ウ　サイレンアンプは，センターインストルメントパネル内又はセンターコンソールボックス内に設置すること。

（５）電動サイレン

ア　赤色警光灯内蔵型とすること。

イ　自動吹鳴スイッチを機能集中型操作スイッチ及び助手席付近に設けること。

（６）後退警報機

　スモール点灯時に消音する音声合成機能付きとし，運転席付近に，任意に消音が可能なスイッチを取り付けること。

（６） 室内灯

ア　後部室の上部前後にＬＥＤ式室内灯を取り付けること。

イ　テーブル上部にＬＥＤ式スポットライトを取り付けること。

（７） 交流１００Ｖコンセント

　ＤＣ－ＡＣインバーター（正弦波１，５００Ｗ以上）を支障のない場所に取り付け，出力用のコンセントを前席側に１口，後部室側に２口，車体側に１口以上取り付けること。なお，取付位置等は別途協議する。

（８）機能集中型操作スイッチ

　センターインストルメントパネル内に取り付けること。なお，スイッチの配列については別途協議する。

（９）エアコンディショナー

　エアコンディショナーは，キャビン内のシャシ標準品のほか，後部室内に吹き出し口を取り付け，それぞれ独立して調整可能とすること。

⑽ デイタイムランプ

　車両前面グリル左右にＬＥＤ式デイタイムランプを取り付けること。

⑾ マップランプ

　運転席及び助手席にＬＥＤ式マップランプを取り付けること。

(12) 署待機時充電装置

ア　署待機時，ＡＣ１００Ｖの電源により車体のバッテリに自動的に充電する装置を取り付けること。

イ　過充電防止付きとすること。

ウ　車両後部に蓋付きの車体側コンセントを取り付けること。詳細は別途協議する。

(13) 運転席，助手席及び後部室の天井に２個以上の網式収納を取り付けること。また，車内にヘルメット等を掛けるフックを５個以上取り付けること。取付位置等は別途協議する。

(14) 車速，ブレーキ及びウインカー対応型のドライブレコーダーを設置すること。

(15) ナビゲーション装置は，後方確認カメラと連動させ，後退時に自動で後方確認カメラの撮影画像に切り替わるものとすること。

５　消防救急デジタル無線積載型移動局無線装置等

車両に取付ける消防救急デジタル無線積載型移動局無線装置等（以下「消防救急デジタル無線装置等」という。）は，次のとおりとする。

（１）消防救急デジタル無線装置等は，次に掲げるものとする。

ア　消防救急デジタル無線装置（分離制御器を含む。）

イ　車両情報端末装置（モニター等の周辺機器を含む。）（以下「ＡＶＭ」という。）

ウ　共用器

エ　ハンドセット

オ　車内拡声装置

カ　各種電源配線

キ　アンテナ（ＧＰＳ，ＦＯＭＡ及びデジタル無線装置用をいう。）

（２）消防救急デジタル無線装置等のうち，現物支給する機器等と支給方法について

ア　現物支給する機器等

現物支給する機器は，消防救急デジタル無線装置，ＡＶＭ及び共用器とし，その他（ハンドセット，車内拡声装置，各種電源配線及びアンテナ）は新品とする。

イ　支給方法

本市が指定する車両から受注者が取り外すこととする。

（３）消防救急デジタル無線装置等の取付位置等

消防救急デジタル無線装置等の取付位置，方法等は次のとおりとする。

ア　消防救急デジタル無線装置

本体は，後部座席から操作が容易な位置に取り付けることとし，分離制御器は，車両ルーフ前部又は中央部で，運転席及び助手席から操作が容易な位置に取り付けること。

イ　デジタル無線装置用アンテナ

消防救急デジタル無線装置の空中線は，ホイップアンテナを使用し，キャビン上部に穴開

け取付け（車種により穴開けができない場合はマグネット）とする。また，コネクタを介して取付けし，配線は保護管付き同軸ケーブルを使用，車内内張を通して，消防救急デジタル無線装置の本体位置まで配線すること。

なお，デジタル無線装置用アンテナの仕様は次のとおりとする。

(ア) 型　式

容量接地型　　λ/4　ホイップアンテナ

(イ) 使用周波数帯

２６０～２７５MHｚ

(ウ) 同軸ケーブル

３D－2V

ウ　ハンドセット取付位置

助手席付近及び後部座席付近の操作が容易な位置に取り付けること。

エ　車内拡声装置

助手席付近及び後部座席付近の上部に取り付けること。

オ　ＡVM取付位置

本体は，メンテナンスにおいて容易で，乗降時に支障とならない位置とし，防振及び放熱性を考慮すること。また，モニターは，助手席及び後部席から操作容易な位置とする。

（４）事前協議事項

受注者は，消防救急デジタル無線装置等の取付方法等について，本市職員及び無線取扱業者と事前協議すること。

（５）無線局にかかる変更申請及び手数料

北海道総合通信局に対する無線局にかかる変更が生じた場合は，受注者が変更申請を行い，申請手数料等は受注者の負担とする。

第５　塗装等

１　塗装要領

（１）塗装は，良質な材料を使用し,下地及び上塗りは入念に仕上げること。

（２）完成検査までの期間に，受注者の機材積み込み，ぎ装取付作業等で塗装面に傷が付いた場合は，パテ等で埋め戻した上で再度補修塗装を行うこと。

（３）朱色の塗装範囲は，他に指定がない限りタイヤホイルを除く車両外面，キャビン内等の視認可能な範囲とする。詳細は別途指示する。

（４）原則，部品単位での塗装とし，外装部品は，可能な限り取り外した上で塗装すること。

2　塗色

部　位	塗色	備考
タイヤホイルを除く車両外面	朱色(消防指定色)	フロントグリル部及びメッキ部分は別途指示する。
キャビン内側・後部室	朱色又はクリーム	キャビン内部で露出しているボデー鋼板部
フェンダ内・シャシ下回り	黒	長期使用に耐えうる処理を施すこと。
ボックス内面	明度の高い色	積載器具による傷つき防止及びボックスの劣化防止の処理を施すこと。

3　記入文字等

車体の記入文字は，ステッカ方式とし，字体は丸ゴシック，左書きとし，ライン以外の文字については関係法令に抵触しない限り反射シートによるものとする。その確認については，受注者が行うものとし，その経過については本市に報告するものとする。

その他，車体の塗色以外のライン入れ，エンブレム，大きさ等は別途協議する。

種　類	部　位	記　入　文　字	色
本部名	前部両ドア・後部	旭川市消防本部	白
整理番号	フロント左側	Ｙ－２７	白
対空文字	車両上部	旭川北指	白
その他	車両両側面	ASAHIKAWA FD	白
	後部右側	北指揮	白
	車両側面	www.city.asahikawa.hokkaido.jp	
	車両前後部	ASAHIKAWA FIRE DEPARTMENT（ロゴマーク影有り）	白
	側面ライン	幅 10cm，1cm の 2 本ライン（車体形状に合わせた立体裁断とする。）	白

第6　検査

1　検査

（1）検査は，中間検査及び完成検査とする。

（2）本仕様書，承認図書及び協議事項に基づいて行うものとする。

（3）一部の検査については，車内検査成績表等により省略するものとする。

（4）検査は，本市の指示に従い受検すること。

（5）製作開始から完成検査に至るまでのぎ装工程について，作業の進行状況を本市に対し，Ｅメールなどの画像送信等によって報告すること。

2　中間検査

（1） 検査に当たっては，受注者の営業担当者，設計担当者が立会いの上で実施するものとする。

（2）受注者は，受検日の１４日前までに検査日時，場所及び要領を記載した依頼文書を提出すること。

（3）受検時，改善箇所等の指摘を受けた場合は，その内容，改善対策等について記載した書類を速やかに提出すること。改善対策実施後は，その箇所を画像等にて速やかに報告を行い，本市の承認を得ること。

3　完成検査

（1）車両の新規登録後，資機材及び積載品を全数備えた上で実施するものとする。

（2）本検査は，実績報告を兼ねるものであり，写真撮影を伴うことから，全ての製品に関して速やかに用意することができるように受注者が事前に準備をすること。

（3）検査の結果，指摘を受けた不備事項又は不合格品については，不備事項の改善措置又は改修対策について記載した書類を速やかに提出するとともに，本市の指定する期日までに対策を完了し，再度受検すること。

別表　１（車両取付品）

品　名	個数	備　考
赤色警光灯	１式	屋根前面部　ＬＥＤ式赤色警光灯 NF-ML-VJ2M-LA，ﾓｰﾀｰｻｲﾚﾝ内蔵，防雪ｶﾊﾞｰ付き
赤色点滅灯	１式	前面及び後面部各２個　LF-12C-1 両側上部各２個　LF-21C　LV-4 電源ﾕﾆｯﾄ 4 灯対応
周囲照明灯	１式	両側上部前後　各２個　LI-21
電子サイレン	１式	（参考製品） 大阪ｻｲﾚﾝ社製　　TSK-5101VY（ｲｴﾙﾌﾟ対応） ﾊﾟﾄﾗｲﾄ製　　　　SAP-510FCV(ﾒｯｾｰｼﾞ CD,SD ｶｰﾄﾞ付き)
後退警報機	１式	
電動サイレン	１式	
機能集中型操作スイッチ	１式	ＳＢＷ－１００又は同等品
署待機時充電装置	１式	マグネット式外部電源コンセント(ｽﾊﾟｲﾗﾙ保護 10m)
ドライブレコーダー	１式	ＹＡＺＡＣ－ｅｙｅ３
消防章	１個	
デイタイムランプ	１式	ＩＣＨＩＫＯＨ製　青色
マップランプ	１式	
ナビゲーションシステム	１式	ＤＶＤナビゲーション兼バックガイドモニター設置
訓練旗・取付金具	１式	訓練旗，取付金具，横棒，縦棒
フック・網式収納	１式	
ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ装置・AC ｺﾝｾﾝﾄ	１式	1,500W以上（助手席用・後部用・車体用）
消防救急デジタル無線装置	１式	
車両情報端末装置	１式	

別表　２（車両積載品）

品　名	個数	備　考
発動発電機	１台	ホンダＥＵ９ｉ entry
投光器	１式	シリンダー型特殊投光器 NT-PL9440 19WLED フローレンライト(収納ケース・三脚スタンド付き)
コードリール	１台	防雨・防塵ドラム 30m以上
トランジスタメガホン	２個	TS523R(ホルダー　NZ303B 付き) ハンズフリー拡声器　ER-1000BK

ＬＥＤライト	２台	防水型広角　充電式　NT-ITV-ISN5000
風向風速計	１台	ハンド風向風速計　ｼﾛ産業 M9Z26D-B20
空気呼吸器	２式	A1-12･CX 面体拡声装置及び充電器付き･ﾎﾞﾝﾍﾞ 730CⅢZ 上下ｶﾊﾞｰ付き
空気呼吸器予備ボンベ	２本	ﾎﾞﾝﾍﾞ 730CⅢZ 上下ｶﾊﾞｰ付き
空気呼吸器予備面体	２式	CX 面体拡声装置付き　ESP-SP4 ﾀｲﾌﾟ　充電器付き
工具	１式	KTC SK3249S
指揮用ホワイトボード	２枚	800×500 程度　文字「部隊運用状況」入り
屋外用ホワイトボード	１式	車両吊り下げ式
ストレッチャー型指揮台	１台	ストレッチャー本市支給　引き出し付き
指揮用テーブル	１台	折りたたみ式
双眼鏡	１個	防水タイプ
防水シート	５枚	3000Ｆ 3.6m×5.4
巻尺	１個	50ｍメモリ（レーザー距離計可）
セーフティーコーン	５個	伸縮式
ライフジャケット	３個	MONT-BELL リバーランナープロ（笛 FOX40･紐付き）
鍵付キーボックス	１箱	15 個以上，壁掛け又は棚収納（振動により干渉しないもの。）
消火器	１式	自動車用ＡＢＣ１．８kg
救急用具	１式	日本船舶　ファーストエイドキットＳ
車輪止め	２個	ゴム製
バインダーバッグ	６個	ビニールカバー付き

（付属品）

品　名	個数	備　考
フロアーマット	１式	運転席・助手席・後部長尺
非常用信号用具	１式	三角表示板
スノーブレード	１組	
スノーブラシ	１個	
冬タイヤ	１式	スタッドレスタイヤ５本（スペア１本）ホイール付き
タイヤチェーン	１式	
サンバイザー	１式	運転席，助手席
サイドバイザー	１式	
泥よけ	１式	

予備キー	２個	
牽引ベルト	１式	ソフトカーロープ安全フック付き
レスキューセット	１式	車両メーカー純正

別表３（本市にて積載予定の車両積載品）

品　　名	個数	サイズ	品　　名	個数	サイズ
スローバック	１個	110×300×120	携帯無線機	３台	150×50×70
署活系無線機	１台	150×50×70	各種キー	15 個	
ﾌｧｲﾔｰﾊﾞﾙｶﾝﾗｲﾄ	２台	270×200×130	デジタルカメラ	１台	
携帯電話	１台		点検ハンマー	１本	
指揮本部旗	２式	さおなし	赤旗	１枚	
非常用パーツ	１箱	車両各種予備球他	Ｎ９５マスク	１箱	
集団救急マグネット	１箱		電池・文具類ブックス	２個	140×230×90
パソコン	１台	300×310×70	災害概況板	３枚	
電気ポット	１台	180×180×300	スコップ	２本	角１，剣先１
マグネット板	３枚		指揮隊ベスト	４枚	400×400
防毒マスク	３個	250×200×260	トリアージ用シート	１式	